

ブラジルのエネルギー事情

2012/10/29

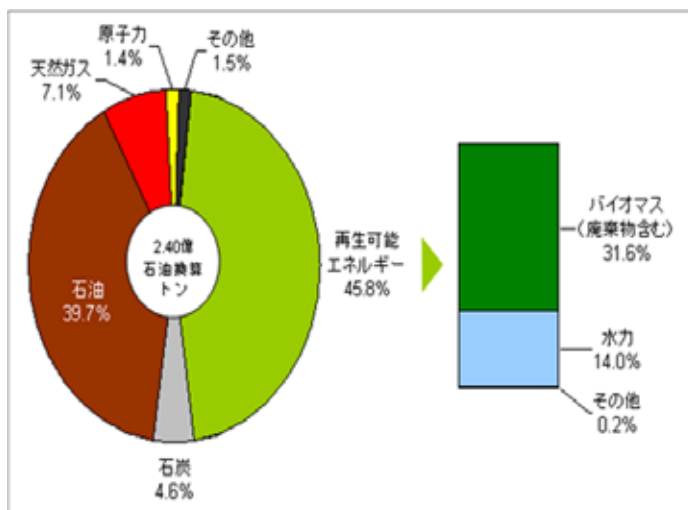
文責：吉田 木村

[資料 1]

- ・面積：851.2 万平方キロメートル（日本の 22.5 倍）
- ・人口：約 1 億 9,100 万人（2010 年、伯国勢調査）
- ・GDP：2 兆 8,980 億ドル（2010 年、IMF）

（外務省 HP：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/brazil/index.html>）

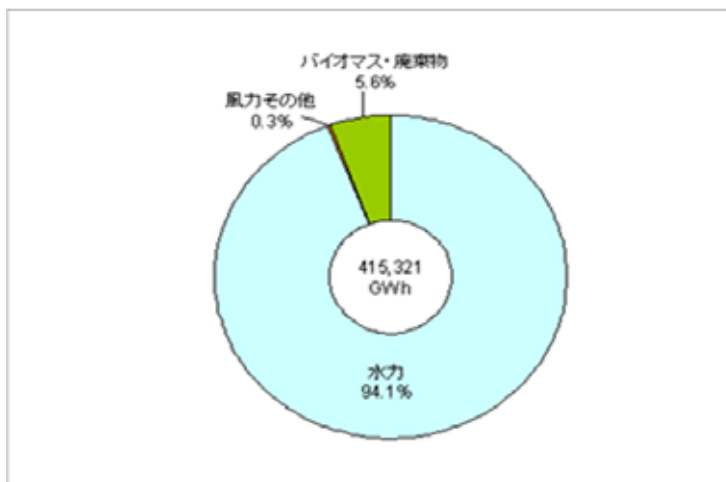
[資料 2]



（石油・ガス開発のフロンティア 水力以外の電源開発急ぐ [連載] 世界新エネルギー地図 第 22 回：ブラジル

<http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/contribution/2012/nikkeiecolgy08.html>）

[資料3]



水力発電量の多さは圧倒的
総発電量 41 万 5,321GWh
(2009年)

出所：IEA 統計を基に作成

注：廃棄物発電にはすべての廃棄物が含まれ

(石油・ガス開発のフロンティア 水力以外の電源開発急ぐ [連載]世界新エネルギー地
図 第22回：ブラジル

<http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/contribution/2012/nikkeiecolgy08.html>)

[資料4]

1931	輸入ガソリンにバイオエタノール混合を義務付け
1933	砂糖・アルコール院(IAA)設立
1939	砂糖・バイオエタノール生産割当上限設置
1973	「第一次石油ショック」発生
1975	国家アルコール計画開始
1979	「第二次石油ショック」発生・アルコール車生産開始
1989-90	含水エタノールの供給不足発生・アルコール車離れ
1990	IAAの廃止により砂糖輸出の自由化等の規制緩和策を推進
1993	ガソリンの無水エタノール混合義務付け
1997	無水エタノール価格の自由化、バイオエタノール生産割当の廃止、ペトロプラス流通・販売独占権の廃止
1999	含水エタノール価格及びサトウキビ価格の自由化
2003	フレックス車の販売開始・ガソリンへの無水エタノール混合割合25%に設定
2005	アグロエネルギー国家計画発表・フレックス車が新車販売台数の7割を占める
2006	アグロエネルギー国家計画2006-2011発表
2007	バイオエタノール国際商品化に向けた取り組みを開始
2009	サトウキビ農業生態学的ゾーニング制度の決定

(小泉達治 『バイオエネルギー 大国ブラジルの挑戦』 2012, 日本経済新聞出版社)

(その他参考文献)

・ブラジルのバイオマス最新利用事情日本ブラジルネットワーク代表 福代孝良

http://www.npobin.net/hakusho/2006/kokusai_3.html

・ブラジルのバイオディーゼル混合率引き上げが世界大豆・大豆製品需給に与える影響 小泉 達治 (農林水産政策研究 第19号)

(<http://www.maff.go.jp/primaff/koho/pickup/index.html>)

・国際砂糖価格と需給に与える要因～ブラジルにおけるエタノール政策・需給動向～

(http://sugar.alic.go.jp/japan/view/jv_0604a.htm)

・グローバルネット 2006年8月号(189号) 特集/食の持続可能性～持続可能性調達連続セミナーより

http://www.fairwood.jp/printdoc/prdc_mel19_01.shtml)

・ブラジルにおけるサトウキビ農業生態学的ゾーニング制度：背景、内容、評価

小泉 達治

http://www.maff.go.jp/primaff/koho/seika/seisaku/pdf/seisakukenkyu2011_s1.pdf)